



地域政党 きずな庄原 議員団

KIZUNA SHOBARA



会派要望

令和6年度予算編成に当たり、これ以上の過疎化、人口減少に歯止めをかけるためにも、①国の動きを待つ②近隣市町との横並び③前例主義ではなく、①市民目線で②地域の特性に基づき③新しい社会を生み出す責任を果たすことを願い、地域政党きずな庄原議員団から要望を行いました。

赤字…主な新規事業および執行部の動き

青地…主な議会の動きおよび地域政党きずな庄原議員団の動き

1. 「挑戦する未来（あなた）」への応援と投資（ひとづくり）
 - (1) 人口減少を起因とする本市の各課題解決のため、子育て・教育については徹底的に取り組むこと。より思い切った施策に踏み切るためにも子育て教育関連予算の倍増や人材投与の3倍増などをはじめに確保した上でそれ以外の予算、執行体制を構築するなどのドラスティックな改革を求める。
⇒教育民政常任委員会閉会中の継続調査
⇒代表質問
 - (2) 持続可能な農村、山村を維持するための後継者育成、人材確保に努めること。また、このまちでチャレンジしてみたいという人への投資や支援策を講じること。
⇒庄原いちばんづくり留学事業 4,175万円
⇒代表質問
 - (3) 子育て支援策の更なる充実を図ること。特に発達障害などへの支援については広島県としっかりと相談しながら、市内に発達障害等支援施設を複数箇所整備すること。
⇒教育民政常任委員会閉会中の継続調査

こし まこと
五島 誠〔編集責任者〕
〒727-0114 口和町永田1625-1
090-3287-3050
makoto545454@gmail.com

くにし ともみ
國利 知史
〒729-6131 山内町1589
080-6317-7279
snowman-2020@hi3.enjoy.ne.jp

はやし たかまさ
林 高正
〒727-0014 板橋町1110-3
090-8997-2881
QYC04464@nifty.com

とくなが ひろおみ
徳永 泰臣
〒729-5723 西城町平子640
090-1183-6048
qqgp4xc9k@theia.ocn.ne.jp

(4) 県立広島大学庄原キャンパスとの関りを深め、協同の取り組みを強化し、挑戦する学生の支援を行うこと。

⇒**県立広島大学連携事業 50万円**

⇒代表質問

(5) 市内県立高校の存続に全力を注ぐこと。

⇒**県立高等学校振興補助金に本年度から庄原実業高校も追加**

⇒代表質問

⇒**西城紫水高等学校の存続に関する請願
全会一致で採択**

2. 何歳になっても満たされる生きがい（人材づくり）

地域の実情に応じた公共交通体系を構築し、免許返納後も行動範囲が維持でき、心身ともに健康で生きがいを持ち充実した生活を送れるような公共交通環境を整えること。

また、JR芸備線存続に向けた市民意識の向上、関心を集めるための施策を市として進めると同時にまちづくりとして取り組むこと。

⇒**芸備線利用促進事業1,513万円、
デマンド交通運行事業1,398万円**

⇒**地域交通課係新設（1係⇒2係）**

⇒**教育民生常任委員会 委員長報告**

⇒**芸備線沿線議員連絡協議会庄原支部による
市民集会開催（3月24日）**



3. 命を守る創造農村プロジェクト（まちづくり）

(1) 森林環境譲与税を活用して境界明確化事業を速やかに市内全域で実施することと、自伐型林家の育成を図り、林業で暮らしていきけるまちづくりを進めること。

(2) 近年多発する自然災害などを防ぐためにも、循環型林業の推進や広葉樹の保全などの森林整備を強化し、また多様な林業形態が共存し、共に協同して林業に取り組める環境を構築すること。

⇒**原木供給・需要促進事業奨励金
2,380万円**

⇒**企画建設常任委員会閉会中の継続調査**

(3) 豊富な森林資源を活かした森林体験プログラムの推進、豊かな自然環境の元でのスポーツ合宿の誘致など、本市の特色を活かした観光推進を図ること。

⇒**地域政党きずな庄原議員団
テラスポ鶴舞視察**

4. まつりごとの中心になれる地域住民自治拠点づくり（地域づくり）

地域の実情に応じた地域づくりを進める自治振興区の取り組みを支援し、持続可能な地域を作り、またその活性化を推進すること。

⇒**自治定住課 係再編**

⇒**企画建設常任委員会閉会中の継続調査**

5. 市民協働が実践できる庄原市組織の活性化（仕組みづくり）

(1) 市役所職員がいきいきと職務に専念できる職場環境を整えるとともに、市民にやさしい心通う行政組織の構築を図ること。特に仕事の偏在が見られる生活福祉部児童福祉課や保健医療課など各課については再編も含めた組織機構の見直しを進めること。外部の研修なども活用し、積極的な人材育成や働き方改革を進め、激しく変化する時代に対応するべく変革していく組織、人材を創造していくこと。

⇒**組織機構の見直し（地域交通やデジタル、
人口減少対策等）**

⇒**正規職員数17名減（退職者の増加）**

⇒代表質問

⇒**一般会計予算に対する付帯決議 全会一致
で可決**

⇒**総務常任委員会閉会中の継続調査**

(2) デジタル化、情報化の更なる推進を行い事

務軽減、市民サービスの向上を図ること。現在進めているRPAやAI-OCRをさらに押し進めることに加え、ICTやデザインなどのクリエイティブ人材の活用を図ること。

⇒DXの推進関連予算 7,618万円及びDX人材（専門員）配置

⇒企画建設常任委員会閉会中の継続調査

- (3) 補助金事業の見直しを図ることに加え、クラウドファンディングやPFI、地域仮想通貨など新たな財源確保に取り掛かること。

⇒総務常任委員会閉会中の継続調査



代表質問

質問者：五島 誠

答弁を求める者：市長

施政方針について

令和6年第2回定例会初日、2月20日、当初予算審議に当たり木山市長が施政方針として市政運営の一端を述べられた。それに対して、地域政党きずな庄原議員団として以下の点について所見を伺う。

- (1) 令和5年の出生数は合併以後最少となることについて触れられていたが、残念ながら少子化対策については施政方針の中では特に具体的な言及は行われていなかった。

全国的な流れを見ると、学校給食費の無償化などは各地に広がり、国としても検討されている状況である。

多世代の憩いの場の整備や子育て支援施設、学校の改修など施設面での計画的な取り組み以外に、特にソフト面でどのように少子化対策をすすめようとするのか、また、市長の少子化対策に対する思いを伺う。

- (2) 県立広島大学との連携事業については我々も期待をしてきたところであるが、新規事業として計上された予算は50万円と、「将来にわたり強固な関係を維持していく」との力強い発言とは裏腹に、大変残念である。

会派としては、県立広島大学の学生に本市に残ってもらえるよう連携や学生支援をもっとすべきと考える。通学補助や家賃補助、サークル活動支援などの学生応援事業、市内の企業へ就職いただくためのインターンシップやマッチングなどの事業を行う考えがあるのか。

予算の多少だけではないと重々理解しているが、改めて県立広島大学ならびに学生との関係を構築されるつもりか見解を伺う。

- (3) 令和6年度より、市内高等学校教育振興補助金を庄原実業高校へも拡充されたが、市として子供たちの学びの場の確保や、選択肢の確保としての市内の県立高校の存続をどう捉えているのか、改めて考えを伺う。

- (4) 施政方針の中では、新規事業も多く、意欲を感じるものも多くあったが、執行体制についての言及はなかった。

令和6年度の職員数は17名減少の479名で調整中と、2月9日の議員全員協議会で説明がなされたが、これはまさに緊急事態であると感じる。

本会議での予算執行体制についての質疑応答などからもその危機感が感じられなかった。業務、組織の抜本的な見直し、業務の効率化、さらなるアウトソーシングの活用、会計年度任用職員の登用などの対応も必要と考える。

何よりもこのままでは更なる退職者、休職者の増加といった負のスパイラルに陥る懸念がある。

改めて令和6年度の予算執行体制、人材確保、業務の効率化について見解を伺う。

※執行部の答弁、追加質問など実際のやり取りについては、次のページのQRコードから議会同継をご覧ください！

一般会計予算に対する附帯決議

令和6年度当初予算の概要と併せて組織機構（案）が示され、令和6年度の職員数は、令和5年4月1日と比較して17名減を設定されている。

こうした状況を受け、本年3月定例会では予算の執行体制に懸念が示され、各予算審査分科会での令和6年度予算審査では、各課の説明に対して、予算執行体制に係る質疑が行われた。

本年3月31日での退職者数は年度中途退職者と合わせて30名を超える見込みである。

このような状況に鑑み、予算執行にあたっては、業務量や職員体制について必要に応じて外部委託や効率化を図ること、退職者の多い状況を踏まえ対策を講じることを求める。

代表質問

(令和6年第2回定例会・令和6年3月12日)



令和6年第2回定例会

(令和6年3月21日) 付帯決議は1:08:10頃から



主な会派活動

- ・毎月第一月曜日 街頭演説会（市内2か所）
- ・毎月第四月曜日 きずなカフェ（市民、団体などとの意見交換）
（令和5年度 各自治振興区、地域有志、県立広島大学、里山こども未来会議など）
- ・研修会（日本自治創造学会、全国国保地域医療学会、清溪セミナーなど）
- ・先進地視察（株式会社アイシン、愛知県豊明市、テラスポ鶴舞など）

※きずなカフェは随時募集中です。

おおむね5人以上の集まりに是非お声掛け下さい。

詳しくは1ページ目下に記載の議員までご連絡ください。



用語解説

決議…議会が行う事実上の意思形成行為で、政治的効果を狙い、あるいは議会の意思を対外的に表明するために行われる議会議決のこと。

請願…住民が直接自分たちの意見や要望を伝える方法のひとつ。紹介議員が必要であり、採択か不採択か結論を出す必要がある点が陳情との違いである。

閉会中の継続調査…委員会では閉会中も調査を継続する必要があると認めるときは、委員長から議長へ申し出、所管事務調査を行う事が出来る。

DX…デジタルトランスフォーメーション、デジタル技術を活用し社会や生活、ビジネスの形を変える事。デジタル化によってよりよい社会を目指す事。